

大好きな檜葉のために、
新しい檜葉を
考えていきたい

まきの はら さゆり 牧ノ原 沙友里

一般社団法人ならはみらい 管理本部主任

昭和62年（1987）、檜葉町生まれ。
高校卒業後、地元企業に就職。2008年に上京。2016年に帰郷、
ならはみらいに就職。15歳より「ならは天神太鼓うしお会」で活動。

ならは
檜葉生まれの檜葉育ち。檜葉が大好きな私ですが、
歌手になりたいという夢を持ち上京。15歳で始めた和太鼓も続け、
働きながら歌の勉強をするという生活の中、東日本大震災が起きました。
地元に戻りつきたい思いもありましたが、今帰ると避難している家族に
迷惑をかけるのではと思いましたし、自分の夢を叶えないままに帰ることにも
葛藤がありました。結局震災後5年間、悩みながらも東京で夢を追っていたのですが、
自分の実力と年齢と現実というものを考え、ここまでやればもう十分だと。
ちょうどその頃、檜葉町の避難指示が解除されるのを知り、
ようやく帰郷の決心ができました。

地元に戻って、檜葉のためという思いから、「ならはみらい」で
働くことになりました。「ならはみらい」は、帰町する方の支援や、
町民参加の活動やイベント企画など、檜葉の未来を築く取り組みを行っている
“まちづくり会社”です。

これまで、休耕田に花を植えるプロジェクトで首都圏の学生に来ていただくことや、
スタディーツアー等、さまざまな活動をしてきました。

これからも町民はもちろん、町外の人たちとの交流も図りながら、
檜葉の今、そして檜葉の未来と一緒に考えていきたいと思っています。



2020年8月には、笑ふるタウンならは
2周年感謝祭を催した